



竹田 英司

夏風邪にかかってしまった。たかが風邪と侮っていたが、1週間が経過してもつらい。井上航選手に「先生、体調悪いっすか?」と氣遣われるほどだ。

そんな中、合田心平選手が心配して私に声を掛けてきた。思い起こせば、初めて合田選手と話したのは食堂での夕食時。私が「(合田選手の出身地である広島県) 神石高原町はどんなところ?」と聞くと、「田舎です」。たった一言で会話が終わ

合田選手 見事な「先生役」

ってしまった。
真面目で無口な選手と想っていたが、バレーボール教室に行した最近、その印象が覆された。「将来的には指導者としてバレーボーラーを育てたい」と聞いていたが、バレーボールを教え始めると、まるで別人になるのだ。マイクを持てば普段、見せないような笑顔。冗談も交え、熟練の司会者か体育教師のように子どもの興味を引きつけていた。見事に「先生役」をこなした。

合田選手は崇徳高時代に井上航選手の2学年先輩であり、JTサンダーズでは航選手の後輩になる。航選手の高校時代の印象を尋ねると、「今と同じ、やんちゃで幼稚でした」。やはり人間はそうそう変わらないものらしい。

現在、合田選手もセッターとして激しいポジション争いをしている。英語で言う「Cool Head but Warm Heart (頭は冷静だが、心は情熱的)」。そんな合田選手の飛躍を期待したい。

(JTマネジャー)

マイクを手にバレーボール教室で熱弁を振るう合田選手(右)と井上慎一朗選手

